

基本情報

■ 位置

カリマンタン島の北部、マレーシアの2州と国境を接する。ヌヌカン島の北東に隣接するセバティック島は、島のほぼ中央にマレーシア(サバ州)との国境線が引かれている。

■ 面積 約 75,468 平方キロメートル
(全国の約3.9%、北海道よりやや小さい。)

■ 州都 タンジュン・セロール(ブルンガン県内)

■ 地方自治体
1市4県 (タラカン市、ブルンガン県、マリナウ県、ヌヌカン県、タナ・ティドウン県)

■ 人口 68万人 (2018年推定値)
(出典:2015年SUPAS(中間人口調査)報告書)

■ 種族 ジャワ(40%)、ブギス、ダヤック、バンジャル、ブルンガン、ティドウン、クタイなど

■ 宗教(2016年) イスラム教 78.7%, プロテスタント 16%, カトリック 4.7%, 仏教 0.5%, ヒンドゥー教 0.05%



歴史

■ 現在の北カリマンタン州となっている地域は、18世紀に栄えたブルンガン王国の旧領地に該当する地域で、1853年に蘭領東インド領となるまでは、スルー王国従属地であった。

■ 2012年11月16日、東カリマンタン州からの分離が決まり、2013年4月22日、インドネシアの34番目の州として新設された。



■ 州の紋章
波の高い海と天然資源の可能性を象徴。

政治

■ 知事
イリアント・ランブリー 前東カリマンタン州官房長
2016年から1期目(初代州知事)

■ 副知事
ウディン・ヒアングオ 元タラカン市長
ゴルカル党、2016年から1期目(初代副州知事)

■ 治安当局

・警察 北カリマンタン州警察本部(2018年1月設立)
州警察本部長:バンバン・クリスティヨノ警察少将

・陸軍
第六軍管区司令部(KODAM VI・ムラワルマン師団)
(東・北・南カリマンタン所掌。東カリマンタン州バリクパパンに所在。)
軍管区司令官:ヘリ・ウィラント陸軍少将

・海軍
2015年8月、タラカンを主要基地に格上げ。

■ 州議会 (任期:2019-2024/全35議席)

政党名	議席数
闘争民主党(PDIP)	5
グリンドラ党	5
ハヌラ党	5
ゴルカル党	4
民主党(PD)	4
福祉正義党(PKS)	3
ナスデム党	2
民族覚醒党(PKB)	2
国民信託党(PAN)	2
開発連合党(PPP)	1
月星党(PBB)	1
ブリンド党	1

経済

- 主要産品
水産(えび)、農業(ヤシ油)
- 州内名目GDP(2019年)
97.46 兆ルピア
- 一人当たり名目GDP(2019年暫定値)※
131百万ルピア
- 経済成長率
2013年: 8.15%
2014年: 8.18%
2015年: 3.40%
2016年: 3.75%
2017年: 6.59%
2018年: 6.04%
2019年: 6.91%
- 州内名目GDP内訳(地域別,2019年)
 - 1. タラカン : 37.64%
 - 2. ヌヌカン : 26.37%
 - 3. ブルンガン : 18.95%
 - 4. マリナウ : 11.04%
 - 5. タテイトゥン : 6.00%
- 州内名目GDP内訳(業種別,2019年)
 - 1. 鉱業 : 26.94%
 - 2. 農林水産業: 15.88%
 - 3. 建設業 : 13.74%
 - 4. 自動車販売: 12.00%
 - 5. 加工業 : 9.20%
- 輸出額 (2019年、100万ドル)
 - 1. インド : 244
 - 2. 中国 : 221
 - 3. 韓国 : 176
 - 4. マレーシア : 151
 - 5. フィリピン : 88

(州統計局資料より。※のみ中央統計局資料)

日本との関係

概況

- 日本語教育機関 タラカン第1国立高校、タラカン第2国立高校、日本語学習者 約100人
- 元日本留学生 2名(いずれも国立ボルネオ大学の講師)
- タラカン市内には戦前からの「日本人共同墓碑」がある(タラカン市が管理)。 →



主な経済協力案件

- 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「北カリマンタン州ブルンガン県における職業訓練高校兼卒業認定試験対策支援学校校舎建設計画(2019年)」
「北カリマンタン州マリナウ県イスラム小学校における図書室建設及び教室備品整備計画(2015年)」

その他

- 旧日本軍が蘭領インドネシアに初めて侵攻した土地(1942年1月)がタラカン(その後、東カリマンタン州バリクパパンに向かった。) 。タラカン市内には、旧日本軍から支配権を奪った豪が建設したとされる建物(Rumah Bundar)が残っており、第二次大戦の遺物などを保存する歴史博物館として観光スポットとされている。
- ヌヌカン県には、旧日本軍が駐留し飛行場を作ったこともあり、Sei Jepun(日本川)と呼ばれる川や、Sei Jepun通りやSei Jepun港などがある。
- 州内の国立大学として、ボルネオ大学がタラカン市内に所在。